

## 「荒井浄水場への太陽光発電設備導入に係るサウンディング型市場調査」

### 【結果概要】

#### 1 調査概要

郡山市では、「郡山市気候変動対策総合戦略」を策定し、温室効果ガスの排出量を2013年比で2023年に50%、2050年に100%削減を目標としており、この取組を推進するため、上下水道局においても、環境に配慮した水循環の形成の理念のもと、再生可能エネルギー導入の一環として、現在、荒井浄水場の未利用地に太陽光発電設備の設置を検討しております。

また、導入の手法については、民間事業者の先進的なアイデアやノウハウを最大限活用し、今後の事業化に繋げるため、事業者の皆様との直接対話(サウンディング型市場調査)を通して幅の広いご意見を伺うことで、計画をより効果的で実効性のあるものにとの目的で本調査を実施したところであります。

#### 2 調査(対話)の経過

募集の公表	2023年11月6日(月)
参加受付期間	2023年11月6日(月)～2023年11月17日(金)
現地見学期間	2023年11月13日(月)～2023年12月8日(金)
個別対話期間	2023年11月20日(月)～2023年12月22日(金)

#### 3 参加の状況

参加事業者数：6者

#### 4 対話項目に関する主な意見

(1) 事業実施に向け実効性のあるスキーム、契約期間。

- ・実効性のあるスキーム：オンサイトPPA等
- ・契約期間：20年間

(2) オンサイトPPAの場合の発電出力、電力買取価格、蓄電池の活用。

- ・発電出力：100kW～300kW
- ・電力買取価格：今後の電気料金を勘案すると採算性は見込めるのではないかと。
- ・蓄電池の活用：蓄電池は高価であり採算性は見込めず、また、荒井浄水場は非常用自家発電設備の備えがあるため、必要ないと考えられる。

- (3) オンサイト P P A とオフサイト P P A を組み合わせの場合の発電出力、系統連系に係る接続検討（有料）の実施時期と方法。
- ・発電出力：400kW～880kW
  - ・買取価格：オンサイトと比較すると、託送料金とサービス料金が上乗せになる。  
ただし、系統連系に係る負担金を除く。
  - ・接続協議の時期：公募前に局で実施していただきたい。
- (4) 事業化するにあたり、施工期間等実施可能なスケジュール。
- ・契約から発電開始までの期間：概ね1年間
- (5) 事業を実施するにあたり想定される課題や条件、役割とリスク分担等。
- ・電気料金が現在と比較し下落した場合。
  - ・消費電力量が現在と比較し減少した場合。
- (6) 契約期間満了後、パネルの撤去。
- ・契約時に撤去を含むと購入価格が割高になる。
  - ・各設備により耐用年数が異なることから、撤去については協議とする方法もある。
- (7) 活用が見込める交付金・補助制度。
- ・環境省 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（脱炭素先行地域づくり事業）
  - ・環境省 地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）
- ただし、諸要件を満たす必要がある。
- (8) P P A 以外の手法による導入の可能性。
- ・メンテ付リース
  - ・買取
- (9) 公募に関し、事業者が確認しておきたい情報、局への要望等。
- ・導入目的の優先順位の明確にしてほしい。
- 電気料金の削減か、脱炭素の推進か、敷地の有効活用か等。

## 5 まとめ

今回のサウンディング型市場調査により、荒井浄水場への太陽光発電設備導入の可能性について理解を深めることができました。対話に御協力いただいた事業者様へ感謝申し上げます。

今後につきましては、御提案いただきました多用の手法を参考に、オンサイト P P A とオフサイト P P A、それぞれの特徴を整理し検討を進捗させ、公募に繋げたいと考えております。

## 6 問い合わせ先

郡山市上下水道局 浄水課 担当：柳沼（ヤギヌマ）、田中（タナカ）

E-mail : [suidojosui-kanri@city.koriyama.lg.jp](mailto:suidojosui-kanri@city.koriyama.lg.jp)

TEL 024-932-7646

FAX 024-939-5822